第28回海洋工学シンポジウム

当日のオンライン・シンポジウム参加の手引き

手引きの内容

本手引きには以下の方法・手順について解説されています。

- 1. Zoom会場へのアクセス方法
- 2. 基調講演への参加
- 3. 司会の手順
- 4. 発表者の手順

Zoom会場へのアクセス方法

参加者用

シンポジウムのZoom会場とアクセスについて

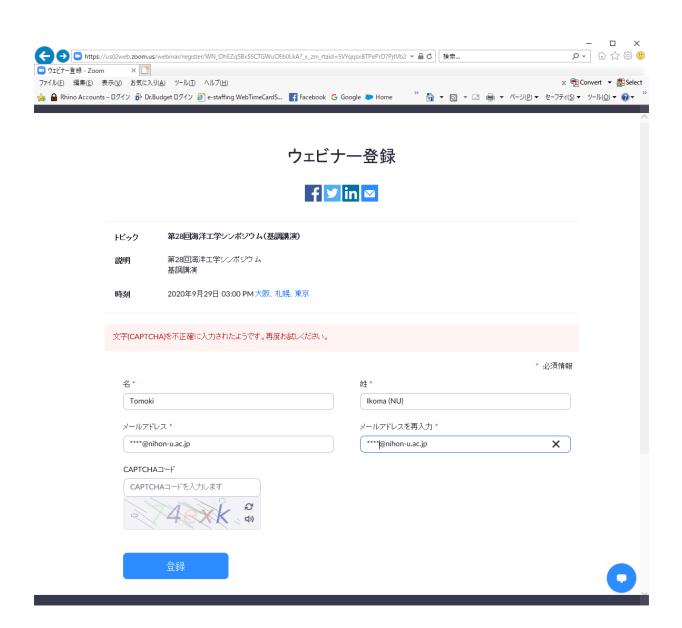
- ・Zoomを利用したオンライン方式で実施
- ・会場は第1会場, 第2会場および第3会場の3会場で実施
- ・会場ごとのZoomミーティング(以後,会場)が設定されている(URL は別途参加登録者に送付されている)
- ・会場にアクセスるためにZoomでの「登録」が必要である
- ・「登録」は3つの会場ごとに必要である
- ・29日の基調講演に参加する場合も基調講演用ウェビナーへの「登録」が必要である
- ・「登録」には名、姓、メールアドレスが必要である
 - ・ 名, 姓の記載は和文が可能な場合には和文で, エラートなる場合には英文での表記とする
 - ・姓の欄には括弧書きで(所属)を和文または英文で記載すること
 - ・シンポジウムへの参加登録時のメールアドレスの記載が望ましい

Zoom会場, Zoom基調講演への登録

- 会場および基調講演のZoom入室用URLを クリックすると「ミーティング登録」または 「ウェビナー登録」ページに移る
- 名, 姓+(所属)を記入する
- 連絡がとれるメールアドレスを入力する
- 「登録」をクリックすると右図のように CAPTCHAコードの入力欄がでるので、点 滅している文字を入力して「登録」する

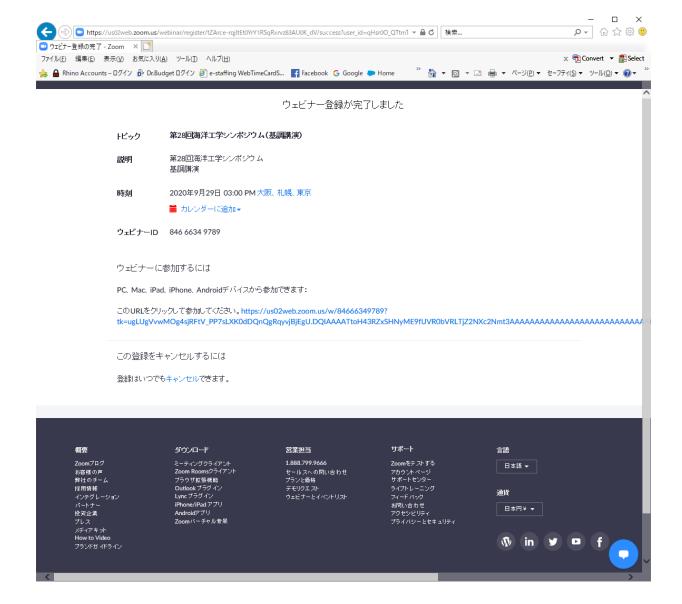
注

▶ 名前等を漢字などで入力した場合に、 無効な名前となり登録できないことが ある。その時は、右図のように英文表 記をすると登録できることが多々ある



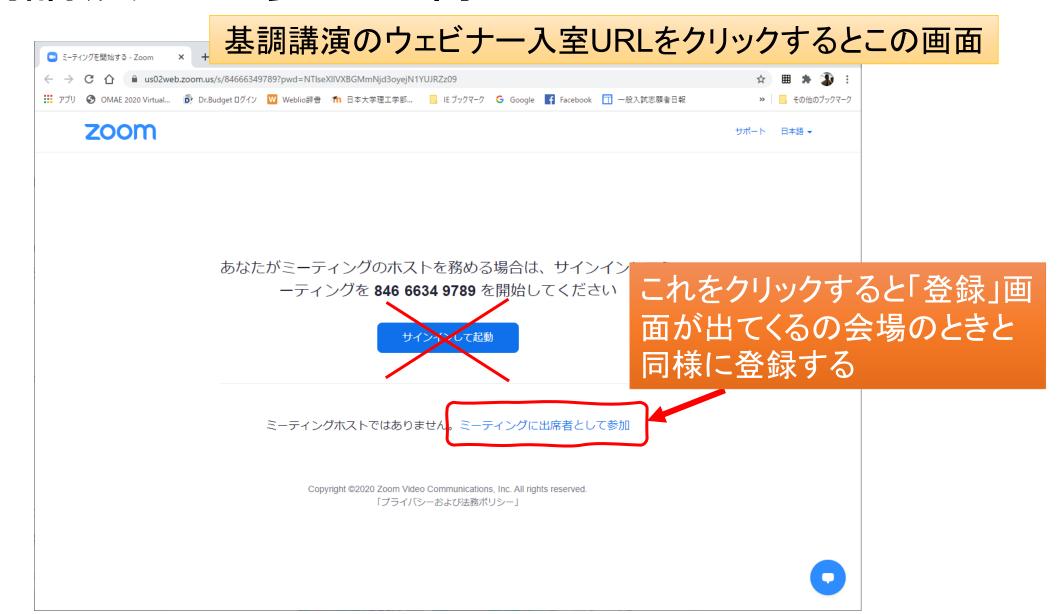
「登録」完了とその後の接続方法

- 「登録」が完了すると右図のような画面となる
- GoogleやYahoo等のカレンダーを利用している場合にはカレンダー追加をしておくと便利である。
- 登録後に会場のZoomへ入室するときには右 図で表示されるアクセス用URLをクリックする
- あらかじめ「登録」を済ませておくことも可能である
- その場合には右図のように表示されたURLをコピーして保存しておくか、カレンダーに登録しておくのがよい



基調講演への参加

基調講演への参加に際して



司会の手順

セッションの司会者用

司会者マニュアル

- ・司会をするセッションが割り当てられた会場のZoomへ入室する
- ・マイクおよびカメラ(使用できれば)をオンにする。
 - ・もしもオンにできない場合には実行委員(ホスト)または運営補助員(共同ホスト)へ「ミュート解除」をチャット機能で求める
- ・セッションでの発表者が入室しているかを声をかけて確認する
- ・定刻にセッションを開始する(司会進行は普通に)
 - ・発表中はマイクをミュートにするように参加者に促す(ホストは発表が始まると強制的参加者をミュートにする場合がある)
 - ・発表者の持ち時間は合計で20分である(原則として15分発表+5分質疑)
 - ・発表者が自身でパワーポイントのスライドを共有するよう指示する
 - ・発表後は参加者に質疑等を促す(参加者が多い場合には質問のある参加者にZoom機能で手を挙げてもらうのがよい)
- ・セッションが終了したらホストか共同ホストに報告して終了(退出して もよい)

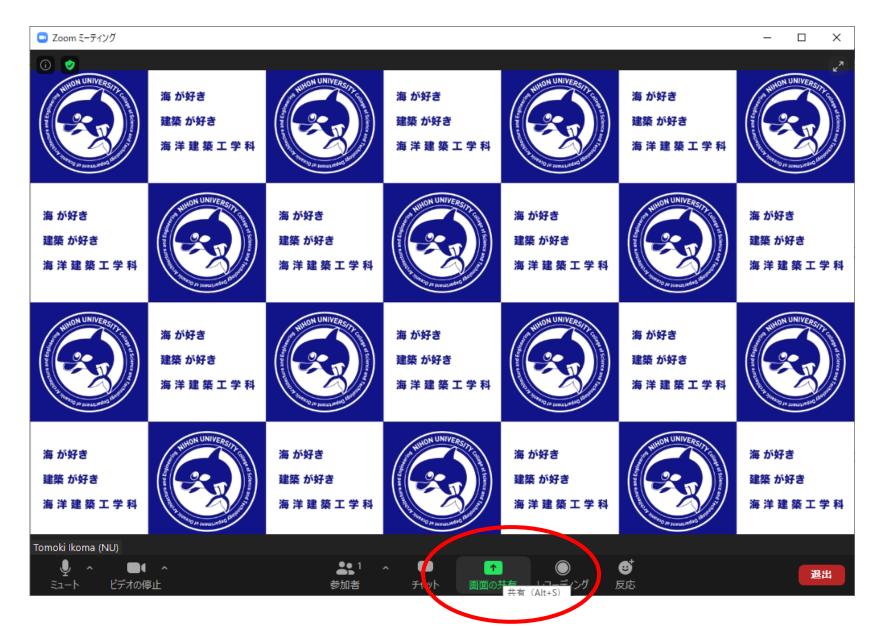
発表者の手順

発表者用

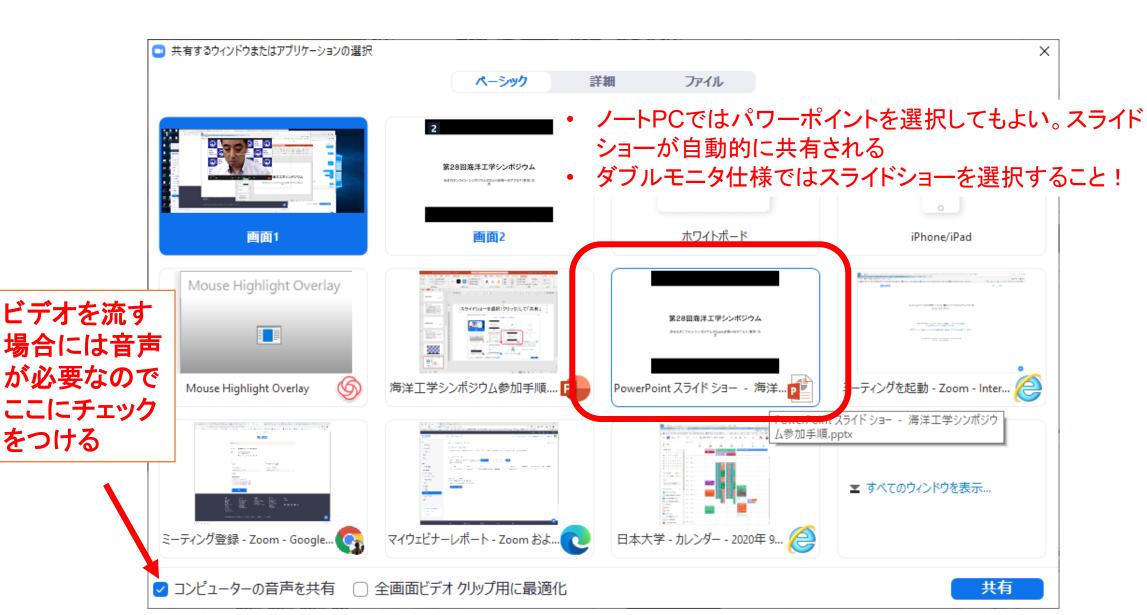
発表者マニュアル

- ・発表するセッションが割り当てられた会場のZoomへ会誌の5分前には入室する(司会者が入室確認を行う)
- ・司会者から紹介され、自身の発表の順番が来たらマイクおよびカメラ(使用できれば)をオンにする。
 - ・もしもオンにできない場合には実行委員(ホスト)または運営補助員(共同ホスト)へ「ミュート解除」をチャット機能で求める
- ・発表を始める
 - ・パワーポイントのスライドを自身で「画面共有」する
 - ・発表者の持ち時間は合計で20分である(原則として15分発表+5分質疑)
 - ・発表終了後は質疑応答を行う
- ・セッションが終了したら終了(退出してもよい)

発表用スライドの画面共有



スライドショーを選択(クリック)して「共有」



をつける

「参加者」表示の中で「手を挙げる」などの意思表示

- Zoomメニューの「参加者」を開いておくと、その ウインドウの右下「…」をクリックすると右図下 のプルダウンメニューがでてくる。「手を挙げ る」で司会者やホストに合図を送ることができ る。終わったら「手を降ろす」
- Zoomメニューの「反応」で拍手や賛成マークで 意思表示することも可能である
- Zoomメニューの「チャット」から司会者またはホストへ直接文字で呼びかけることもできる

